



会長さんの 第23話 昔話

（株）マルイ陶料所（現マルイクレイアンドセラミック（株））さんでの研修を終え、しばらくすると新しい磁器土の開発依頼がありました。そして、このとき出来上がったのが現在も作っている「赤土」という粘土です。

「赤土」という名前ですが磁器土です。石灰釉（透明釉）を掛けて還元焼成するとグレーがかかった色合いになり、呉須の下絵と合わせると渋い雰囲気の色付になります。赤土の「赤」という言葉は、陶石表面の鉄分の多い赤茶色い部分に由来します。以前は、撰中を作る際に陶石からこの赤茶色い部分を荒取りして使いました。はつり取った赤茶色い部分を「赤の木端（こっば）」と呼んでいたからです。

この当時、こちら肥前地域の磁器土は白ければ白いほど良いとされてきました。この少し前には、透かし彫りを施し、そこを釉薬で埋める虫手がとても流行った

くらいです。そのような中、依頼を受けたのは白くない磁器土でした。

求められる色合いを出すための原料選択や割合割合など、わからないことだらけでした。相談できる方にならぬなどして、依頼元の窯元さんとやり取りをしながら試作を重ねていきました。

その結果、選んだ主な原料は、未利用の天草陶石（鉄分が多くこれまで誰も使いたがらなかった石）、岐阜県の原水簸蛙目、長野県の大平長石です。天草陶石は上田陶石さん、原水簸蛙目は共立窯業原料（現共立マテリアル）さん、大平長石は特殊精礦さんからいただきました。

割合割合もほぼ決まり、徐々に生産に取り掛かっていきました。「赤土」用のフィルタープレスと真空土練機を調達し、最初は工場の片隅に置いてスタ



その頃の製品。現在の赤土より少し色が濃い

ト。白くない磁器土を作るのが初めてでしたので、白磁器土

に混じらないようにすくく着やエプロンを用意し、都度着替えながら作業することにしました。

こうして作り始めた「赤土」の生産は昭和59年ごろから軌道に乗り始め、翌年あたりからは、最初に依頼を受けた窯元さん以外からも注文をいただくようになり、だんだんと生産量が増えていきました。

納品先で荷卸しをしている当社の電話番号が書かれたトラックを見て、「連絡先

をメモして注文した」と仰る方もいました。

注文が増えると生産が追いつかなくなり、設備を増やると今度は、設備を増やしても追いつかなくなると、建物を建ててさらに設備を増やし、設備を増やして追いつかなくなると、建物を建てて設備を増やし、注文に出来るための対応をしていきました。

どんどん売れるようになり、ついには「赤土」はうちの主力製品へととなります。最盛期の「赤土」の生産量

は月産100トン。小さあわせて8台のポルミルを使って作るほどでした。

この土のおかげで、それまで取引の無かったお客様から注文をいただくようになったり、地元での知名度が上がったりと、当社にとっては売上とともに大きなプラスになりました。

ただ、この「赤土」はポルミルで作った粘土だったことから、使ってもらってはこちらの地域ならではのハードルがあったのです。（次号へつづく）

淵野義則

Hinaの 気まぐれたいあいー



ご報告と最近のハマっているもの

長女の日菜です、今回も強制です（笑）。まずは報告です。8月に3回目の教員採用試験を受けました。結果は、またまた不合格・・・2度あることは3度あるになってしまいました。引き続き臨時講師をしながら合格を目指します。

約9か月間、新型コロナウイルスの流行により自宅で過ごすことが増えました。去年は、以前このコーナーに登場した友達のふみちゃんとさまざまな場所へ遊びにいらしたのですが・・・（泣）

自宅で過ごすことが増えた中、ハマったものがあります。それは、いま大人気の鬼滅の刃です。はじめはあまり興味がなかったのですが、周りがその話をしたり、映像を目にしていたので知ってはいました。

きっかけは、お盆にいとこたちが家に持ってきた単行本です。その漫画を一気に読んでしまいました。

今や学校の子どもたちと鬼滅の刃の話で盛り上がる日々を過ごしています。

映画がすごく話題になっていますが、まだ観に行けていません（泣）。内容はわかっているのですが、映画館の大きなスクリーンで観るのはやっぱり迫力が違うので、早く観たいと思っています！ 淵野日菜

今年には本当に大変な1年でした！
来年もどうぞよろしくお願いいたします！

有限会社 淵野陶磁器原料

〒849-1426 佐賀県嬉野市塩田町大字五町田乙 287-1

TEL 0954-66-4207 / FAX 0954-66-3747 / E-mail info@fromform.jp

このニュースレターは、これまでご注文いただいた方、サンプルをお送りしました方、名刺交換をさせていただいた方など、ご縁がありましたみなさまにお送りしております。必要のない方は、たいへんお手数ですがその旨を上記までご連絡ください。

淵野 陶磁器

<https://fromform.jp/>

